

第三次 佐久市観光振興ビジョン

骨子案

1 ビジョン策定の目的と位置づけ

2 観光動向調査

3 比較分析

4 KPI分析

5 ビジョン策定・推進体制

6 これからの観光振興の基本的方針

ビジョン策定のフロー

第三次観光振興ビジョン改訂フロー

骨子の整理

骨子案の策定

ビジョン策定の目的設定	計画の位置づけの整理
セカンダリ調査の実施	簡易分析
現状課題の抽出	方針案の設定

1st STEP GOAL

第三次佐久市観光振興ビジョンの
骨子案の合意

骨子案の作成

企画提案時の 課題仮説の共有・協議

◎全体スケジュールのマイルストーンに則り、佐久市観光振興ビジョン策定委員会資料を作成・納品

市民意見の反映①
パブリックコメントが実施・
反映されている状態

調査・分析

各種調査分析の実施

現状施策の進捗確認	観光来訪者調査
WEBアンケート調査	関係者ヒアリングの実施
各種調査の分析	基本方針案の設定

2nd STEP GOAL

調査分析結果から基本方針案を
定める

各種調査の準備

実査に向けた詳細設計

◎佐久市観光振興ビジョン策定委員会で各関係者に事前に協力を要請し、各種調査の実査準備及び関係者ヒアリング等に着手

関係者共有
調査結果報告書が
整理されている状態

アクションの整理

アクションの設定

現状アクションの整理	KGI・KPIとの整合確認
新規・継続アクションの整理	関係者への共有
事業の詳細化	実行期間の仮設定

3rd STEP GOAL

施策体系図＋アクションプランの
整理

関係者との調整

アクション設定に向けた資料整理

◎各種調査分析から佐久市における今後の観光振興の方針を明らかにし、方針とアクションプラン、実施主体の紐づけを行う

関係者共有
関係者に施策方針が
共有されている状態

計画書の作成

最終調整の実施

将来ビジョンの設定	基本戦略の共有
基本戦術(案)の共有	重点施策の提示
推進体制(案)の共有	戦略書への落とし込み

4th STEP GOAL

第三次佐久市観光振興ビジョン(仮)
の内容の合意

第三次佐久市観光振興ビジョン(仮)の作成

企画策定委員会への共有

◎全体スケジュールのマイルストーンに則り、佐久市観光振興ビジョン策定委員会資料を作成・納品

市民意見の反映②
パブリックコメント実施・
最終調整後の状態

第三次佐久市観光振興ビジョンの納品

1

ビジョン策定の目的と位置づけ

ビジョン策定の目的

今後の佐久市の観光振興基本方針を定めるため、各種調査及び現行ビジョンの進捗評価を行い、第三次佐久市観光振興ビジョンへと改訂する

「佐久市観光振興ビジョン(H24～R4)」は、市の最上位計画である「第一次総合計画」のもと、「佐久市交流人口創出基本計画」の趣旨を受け、交流人口創出のための戦略を観光振興面で具現化するための構想・計画として策定した。

その後、大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響により市政を取り巻く情勢が目まぐるしく変化したことを受け、先行き不透明な社会経済情勢の変化に迅速に対応するために、短期的かつ集中的なポストコロナ時代の観光振興施策の推進に必要な基本方針を示すものとして、「第二次佐久市観光振興ビジョン(R5～R8)」を策定した。

佐久市では、「第二次佐久市観光振興ビジョン」の計画期間中、産学官協創による各種観光施策を推進し、滞在型周遊観光の振興を図ることで、観光客数・関係人口の増加及び地域内経済循環の促進を目指す各種施策を展開してきた。現行ビジョンの進捗確認及びKPI等の数値目標の達成評価、アフターコロナ時代の観光客ニーズの把握等を行うことで、今後の佐久市における観光振興の基本方針を定めるべく「第三次佐久市観光振興ビジョン」を策定する。

上位計画・関連計画との関係・位置づけ及び計画期間等

計画の策定に当たっては各種上位計画及び関連計画との適切な整合を図り第三次佐久市観光振興ビジョンへと改訂する



佐久市が同時期に策定中の「第三次佐久市総合計画前期基本計画」を最上位計画として位置づける。また、「第二次佐久市総合計画実施計画」及び観光振興施策を推進する上で関連する各種計画と適切に整合を図り、「第三次佐久市観光振興ビジョン」を策定する。

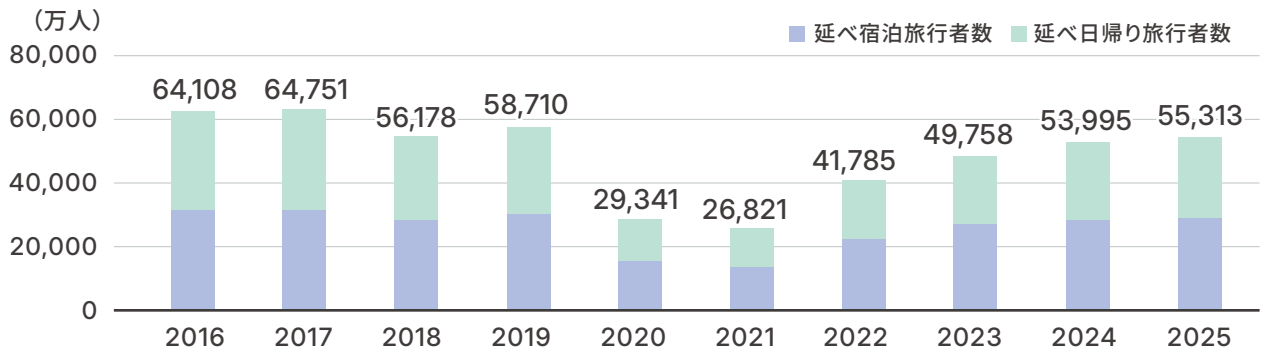
2

観光動向調査 | 国内調査

統計データ調査 | 国内観光の市場動向 - 日本人国内延べ旅行者数 -

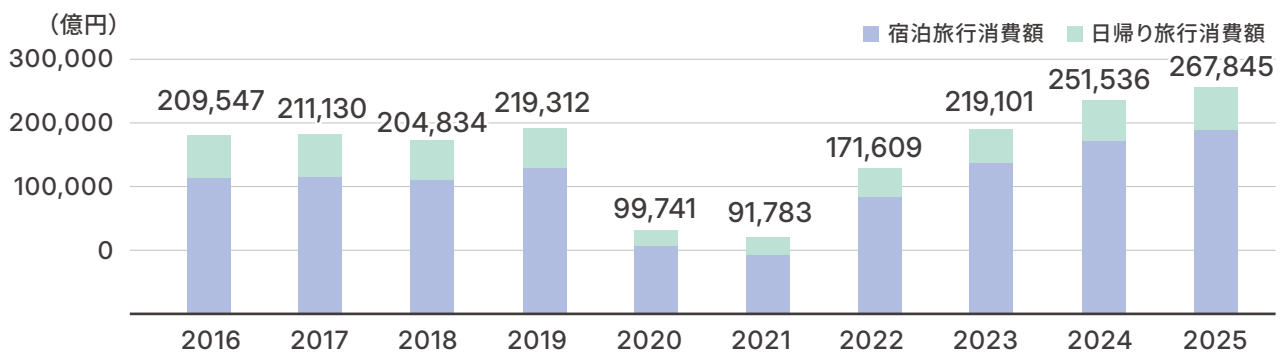
日本人国内延べ旅行者数は2025年に5億5,313万人となった。

宿泊旅行者数と日帰り旅行者数は過去10年間、ほぼ横ばいで半々の割合となった。



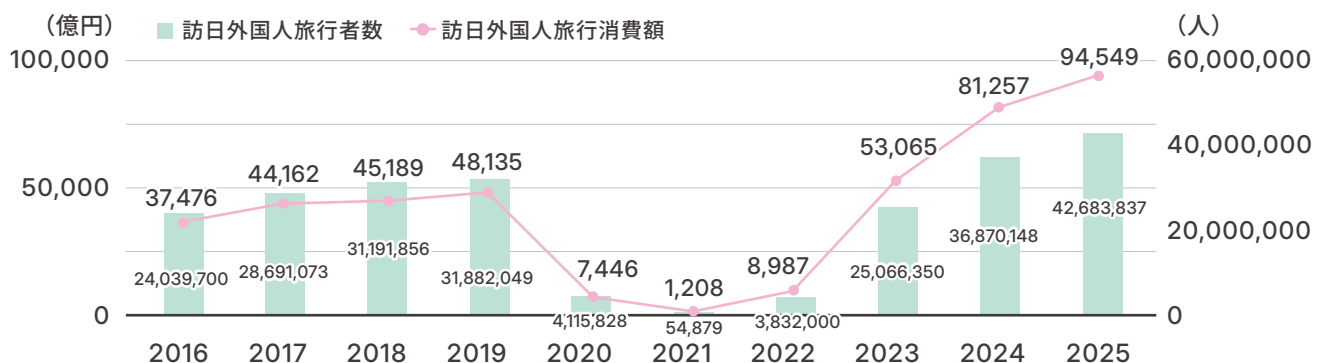
統計データ調査 | 国内観光の市場動向 - 日本人国内旅行消費額 -

日本人国内旅行消費額は2025年に26兆7,845億円となった。宿泊旅行者消費額の割合が10年間逡増傾向にあり、2016年に76.6%だったのが2025年には81.1%となった。



統計データ調査 | 国内観光の市場動向 - インバウンド -

2025年の訪日外国人旅行消費額は9兆4,549億円、訪日外国人旅行者数は4,268万3,837人と過去10年で最大となった。

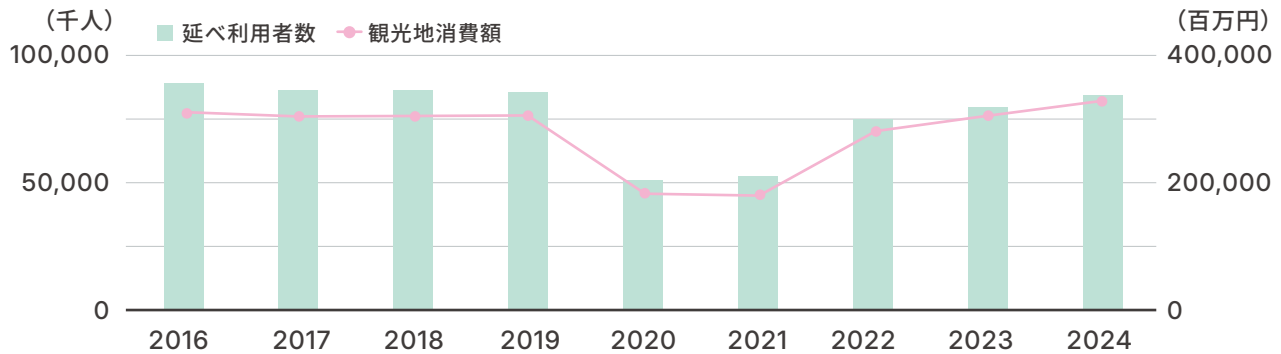


2

観光動向調査 | 県内調査

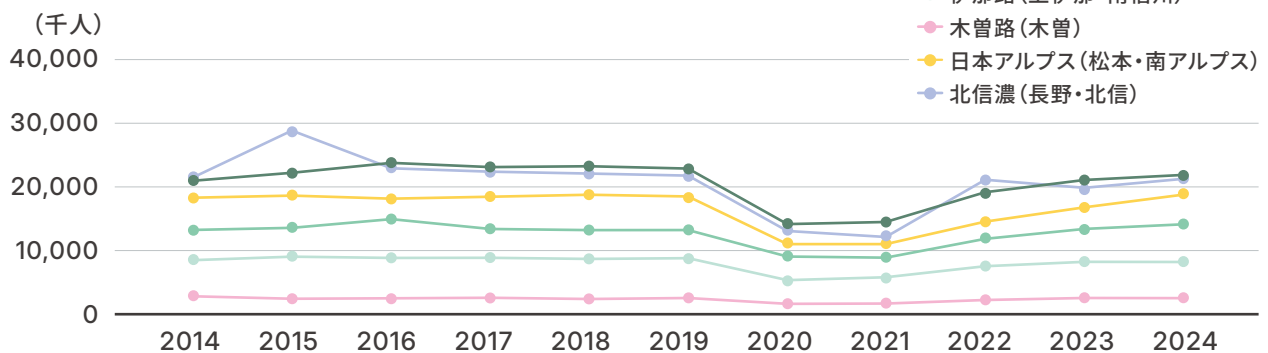
統計データ調査 | 県内観光の市場動向 - 県全体での推移 -

長野県内の2024年の延べ旅行者数は8,514万人、観光地消費額は3,327億円となった。



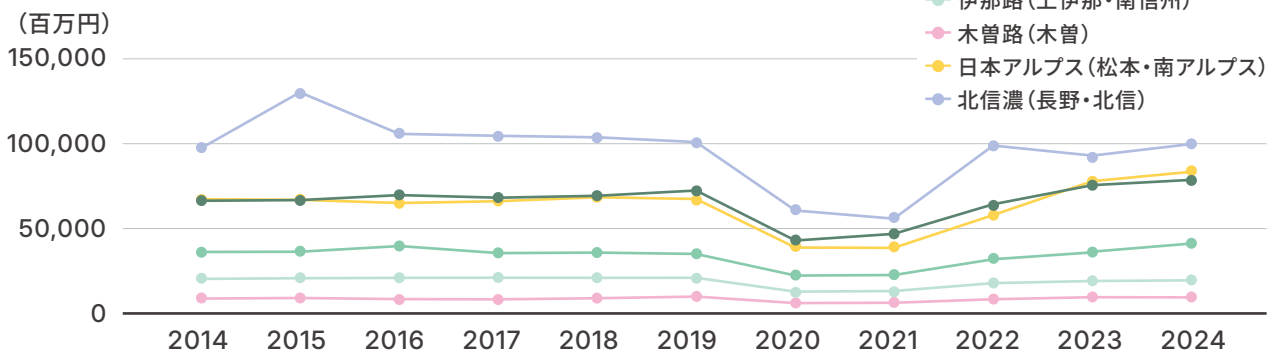
統計データ調査 | 県内観光の市場動向 - 地域別での延べ旅行者数推移 -

2024年の区分別延利用者数は、東信州が最も多く2,158万人となった。最も伸長率が高かったのが日本アルプスエリアで12.4%増となった。



統計データ調査 | 県内観光の市場動向 - 地域別での観光消費額推移 -

2024年の区分別観光地消費額は、北信濃エリアが最も多く1,000億円となった。最も伸長率が高かったのが諏訪エリアで13.1%増となった。



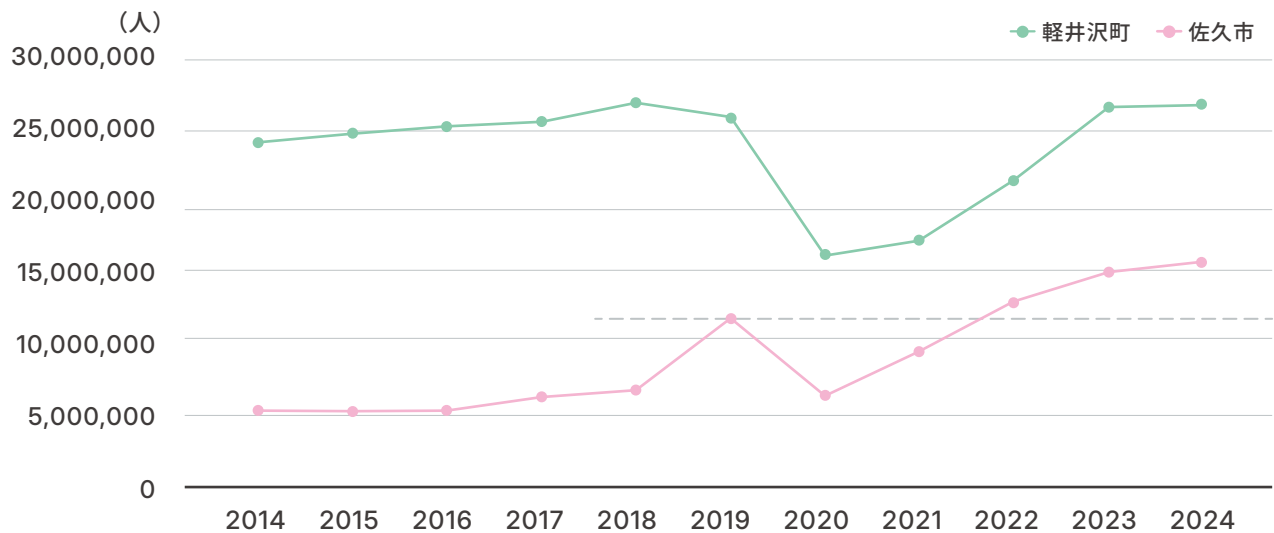
2

観光動向調査 | 東信エリア調査

統計データ調査 | 東信エリア観光の市場動向 - 市区町村別観光入込客数 -

東信エリア内で佐久市の観光入込客数は第3位で、2024年が235万92百人となった。
軽井沢町と佐久市の差は縮まりつつある。

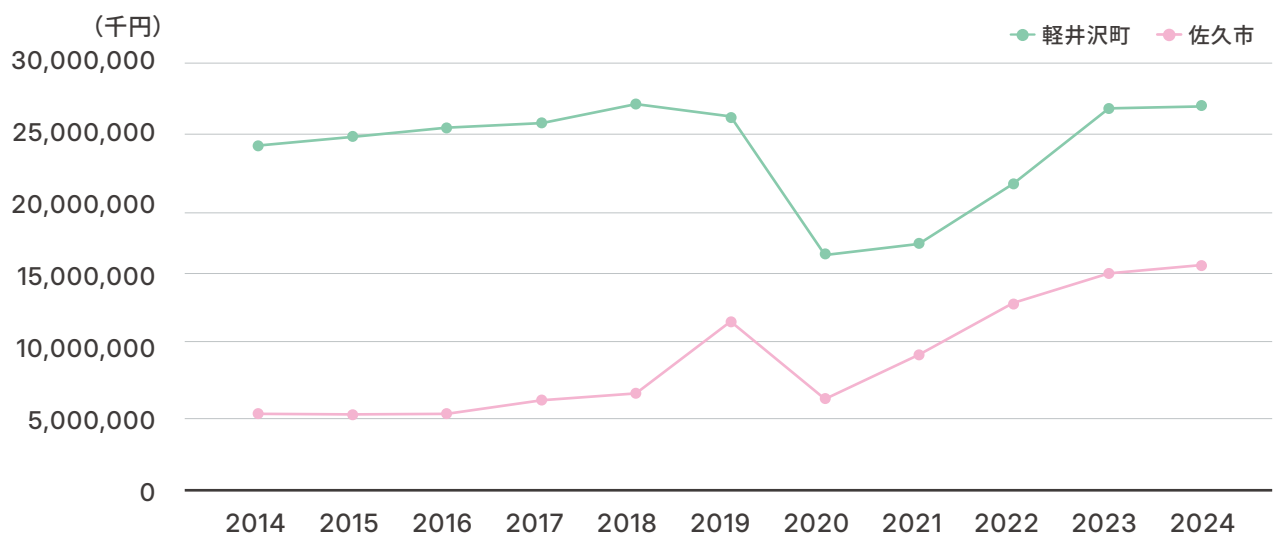
コロナ前の数値に注目すると、軽井沢町はコロナ前の水準に戻りつつあるが、佐久市はコロナ前の水準を超えている。



統計データ調査 | 東信エリア観光の市場動向 - 市区町村別観光消費額 -

軽井沢町はコロナ禍からゆっくりと立ち上がったが、佐久市はコロナが落ち着いてすぐに
観光消費額が向上した。

観光消費額は観光入込客数と類似した折れ線グラフとなった。観光消費額は観光入込客数と相関していると考えられる。



2

観光動向調査 | 市内調査

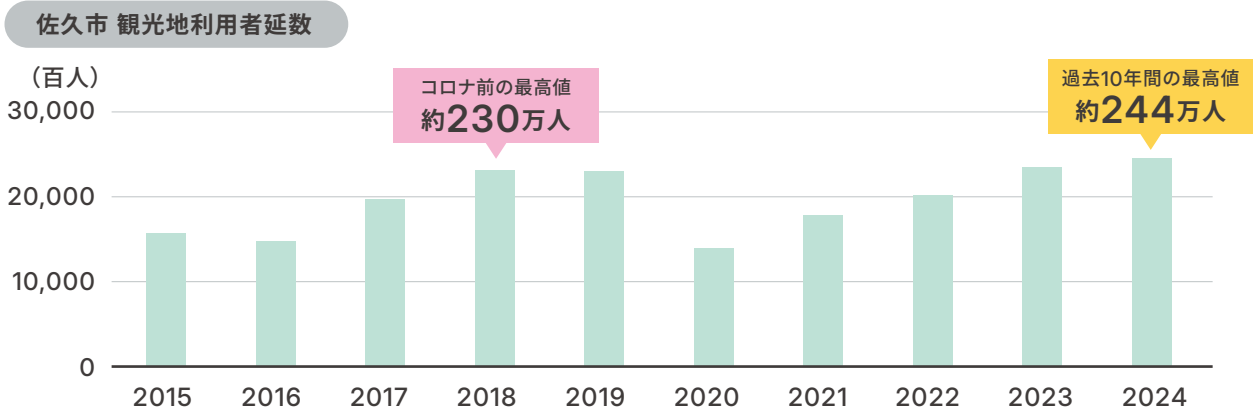
統計データ調査 | 市内観光の市場動向 - 観光入込客数推移

佐久市内観光地利用者延数は、2024年に約244万人で過去最高。
コロナ禍前の最高値を更新した。

「第三次佐久市観光振興ビジョン」への改訂にあたり、佐久市の観光における観光地利用者延数の推移や観光客の観光形態（日帰り／宿泊）の前提情報を収集・整理した。

佐久市観光地利用者延数（推移）

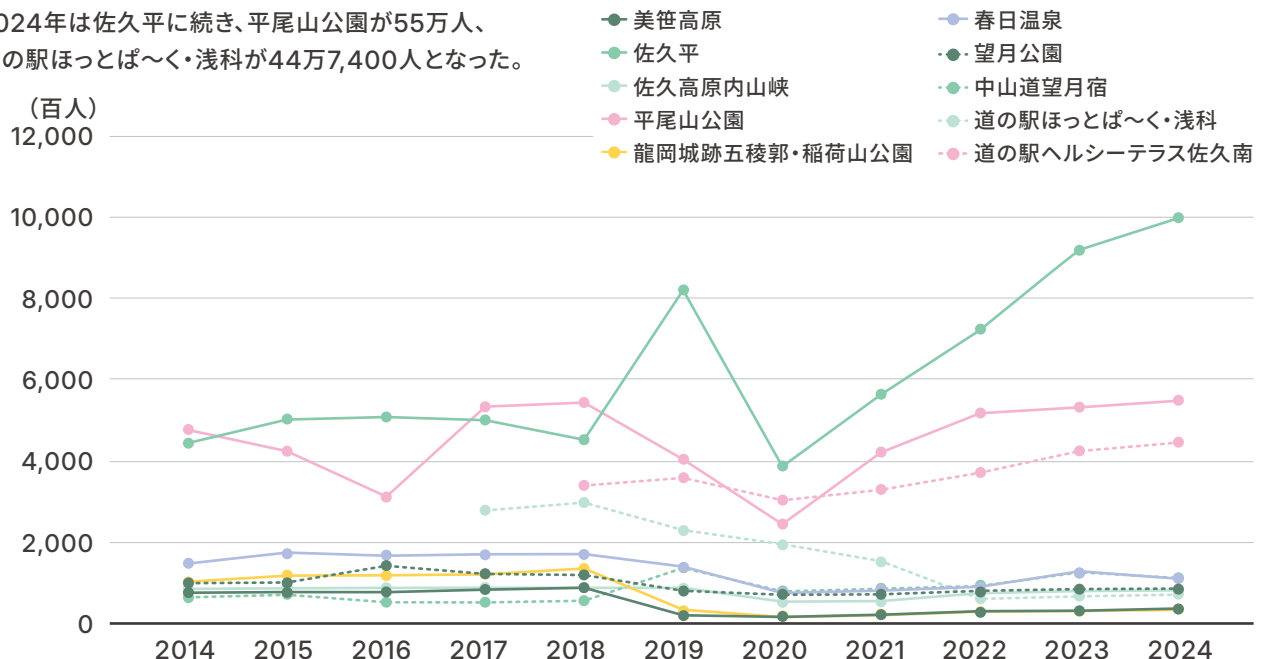
観光地利用者延数は、2024年に約244万人となった。2016年の約148万人を底に、2018年には230万人まで増加。コロナ禍で2020年には約139万人まで落ち込んだものの、2021年から増加傾向に戻り、2024年は過去10年間の最高値となった。



統計データ調査 | 市内観光の市場動向 - 観光入込客数推移（地点別） -

観光利用者延数を地点別にみると、佐久市では佐久平が最も多く、2024年はコロナ前の数値を超えて、99万8,000人となった。

2024年は佐久平に続き、平尾山公園が55万人、道の駅ほっとば〜く・浅科が44万7,400人となった。



2

観光動向調査 | 市内調査

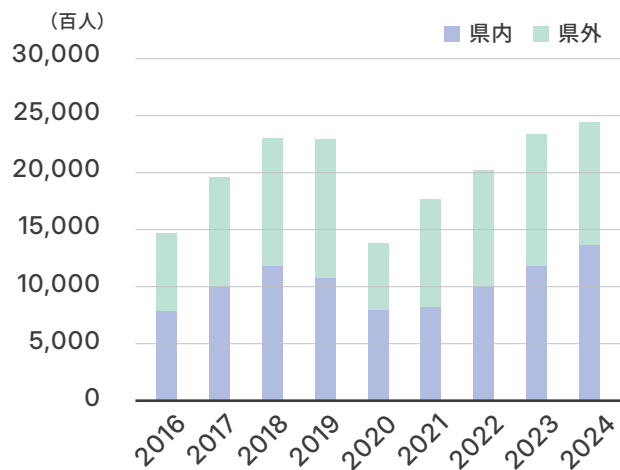
統計データ調査 | 市内観光の市場動向 - 観光入込客数推移(県内外/宿泊) -

佐久市内観光地利用者延数は、県外需要の鈍化及び日帰り偏重の観光となっている。

佐久市の観光地利用者延数は増加している一方で、県外流入比率では県全体に対して約20%もの開きがあり、宿泊観光比率も県全体に対して3分の1程度と、県外需要の獲得及び滞在時間の拡張が喫緊の課題となっている。

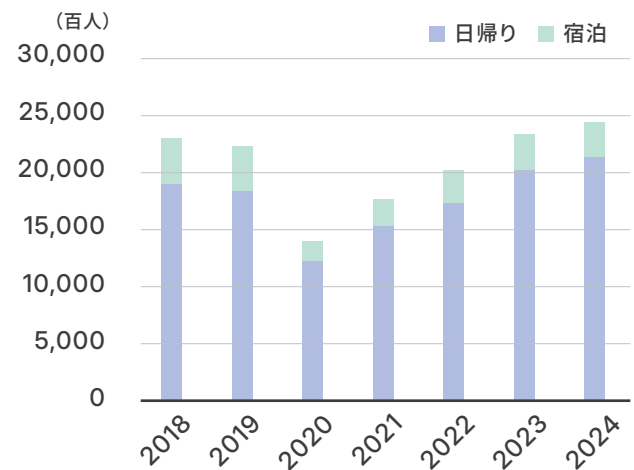
■ 佐久市観光地利用者延数(県内／県外)

佐久市への観光流入のうち県内からの流入はここ5年増加傾向にあり、逆に県外からの流入は鈍化している。



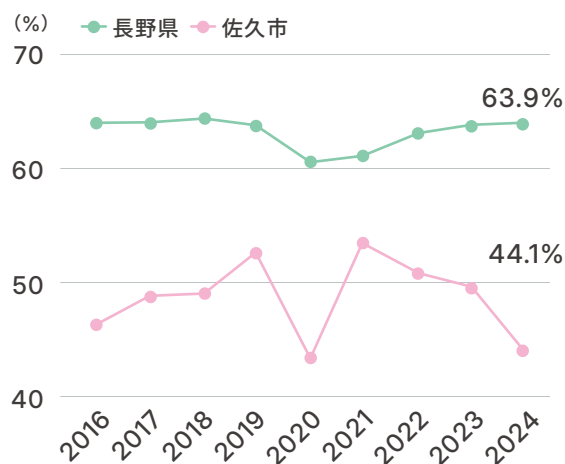
■ 佐久市観光地利用者延数(日帰り／宿泊)

佐久市への観光流入のうち、宿泊客の割合は全体の1割程度で、日帰り観光客の割合が圧倒的に多い。



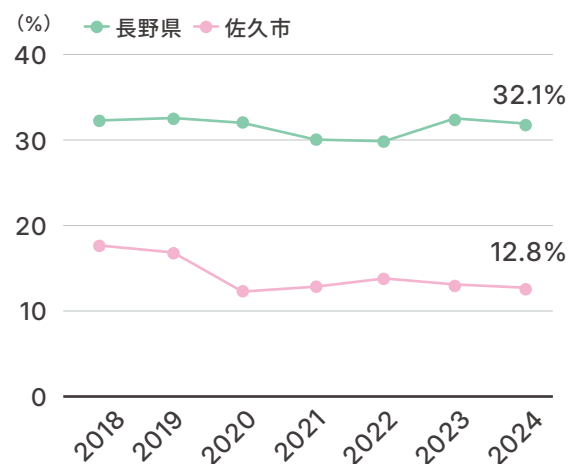
■ 県外流入比率比較(長野県／佐久市)

県外からの流入比率を見ると、県全体ではコロナ禍以降底堅く増加している一方で、佐久市は減少傾向。



■ 宿泊観光比率比較(長野県／佐久市)

長野県・佐久市それぞれの観光流入総数のうち宿泊観光の比率を経年で示した。佐久市は県全体に対して低水準で推移。



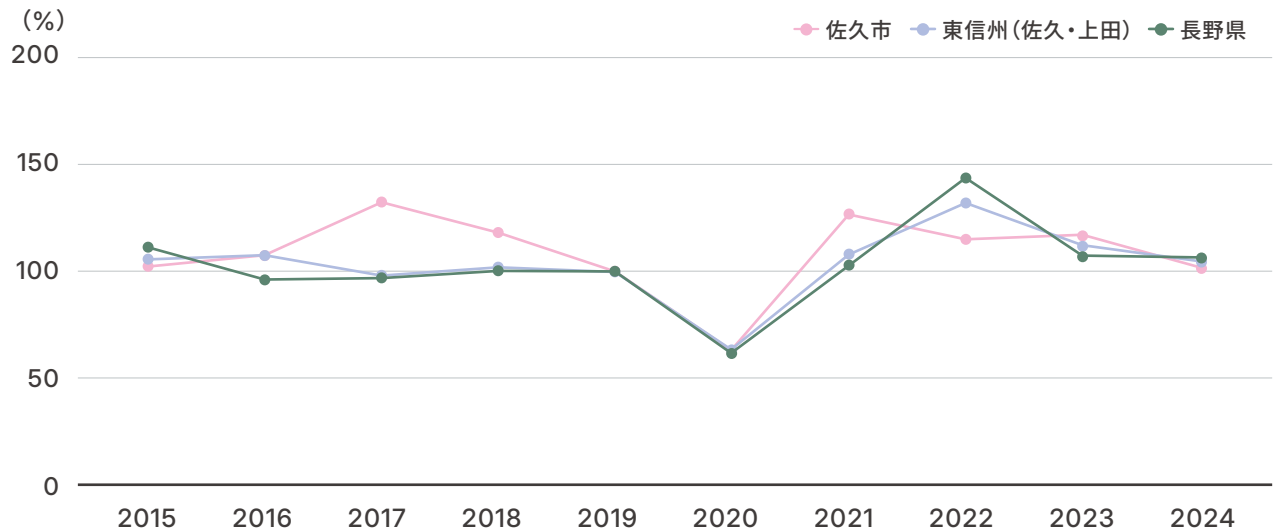
3

比較分析

観光入込客数の比較

長野県、東信、佐久市の観光入込客数の伸長率を比較した。2024年は長野県が106.1%、東信州が103.2%、佐久市が100.9%であった。

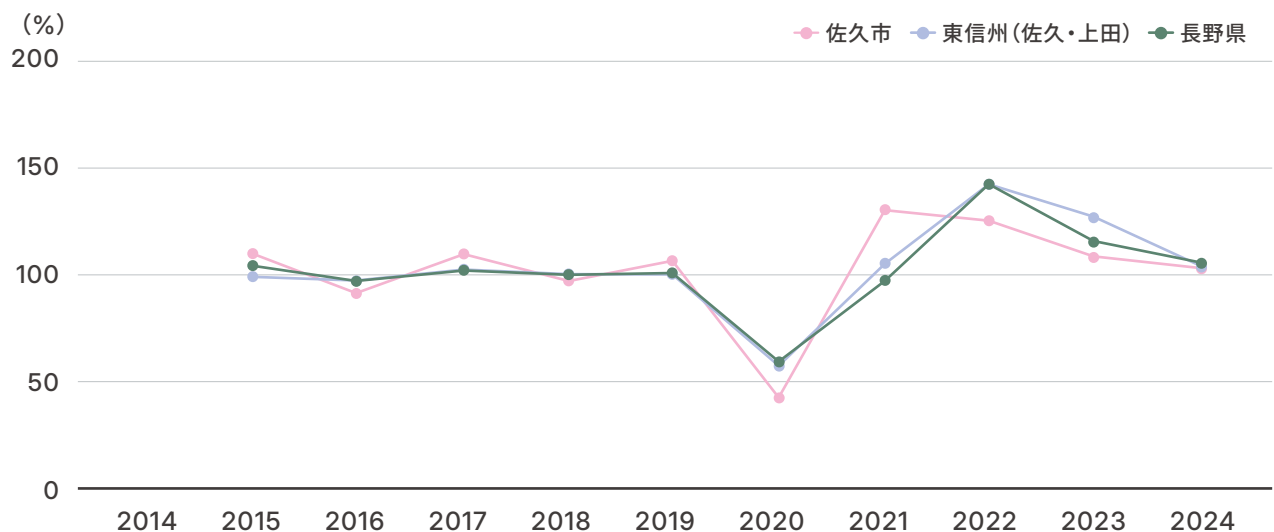
2024年は長野県が106.1%と伸長したのに対し、佐久市は100.9%と大きな伸び幅を見せなかった。佐久市はコロナ前の2017年がピークの伸び率となった。



宿泊者数の伸び率比較

長野県、東信、佐久市の宿泊者数の伸長率を比較した。2024年は長野県が105.1%、東信州が103.1%、佐久市が102.2%であった。

コロナ以降、2022年に長野県と東信州が大きく伸長した一方で、佐久市はコロナ後の2021年をピークに緩やかに伸長している。



3

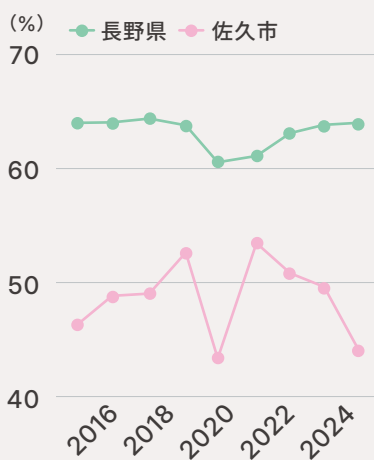
比較分析

セカンダリ調査から見た佐久市の観光課題

佐久市観光におけるマクロ視点での課題として、県外流入比率と宿泊観光比率の改善が浮き彫りとなった。近隣エリアと適切に連携することでこれらの課題解決を図る。

01

県外流入比率の改善



考察

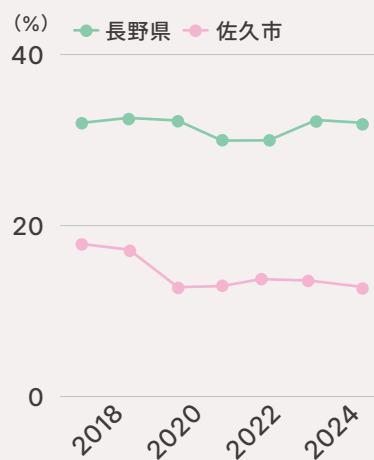
第三次佐久市観光振興ビジョンの計画期間において、今後長野県内で予定されている善光寺の御開帳や諏訪の御柱祭りにあわせて県外流入獲得の機会が高まると推測される。

案

県外客が佐久市を県内回遊の拠点として活用する価値提案

02

宿泊観光比率の改善



考察

長野県内全体の宿泊観光割合と比較すると佐久市の宿泊比率は低水準で推移しています。一方で佐久平駅周辺のホテル開業など宿泊観光の受け皿は整ってきている。

案

佐久市内に「宿泊」することで生まれる観光軸での価値提案

03

軽井沢エリアとの連携



考察

コロナ禍前後の数値を比較すると佐久市は軽井沢町よりも伸長率が高く、今後オーバーツーリズム対策などに東信州近隣エリア一体となって広域での連携が重要となる。

案

迂回経路提案による混雑回避等広域観光における佐久市の価値提案

今年度、佐久市では観光振興における課題をより正確に捉え、適切な施策を立案していくための基礎情報として、観光地来訪者調査や、直近3年以内に佐久市に来訪経験がある方を対象としたWEBアンケート調査の実施を予定しており、上記のマクロ分析と併せて観光振興ビジョンの精度を高めてまいります。

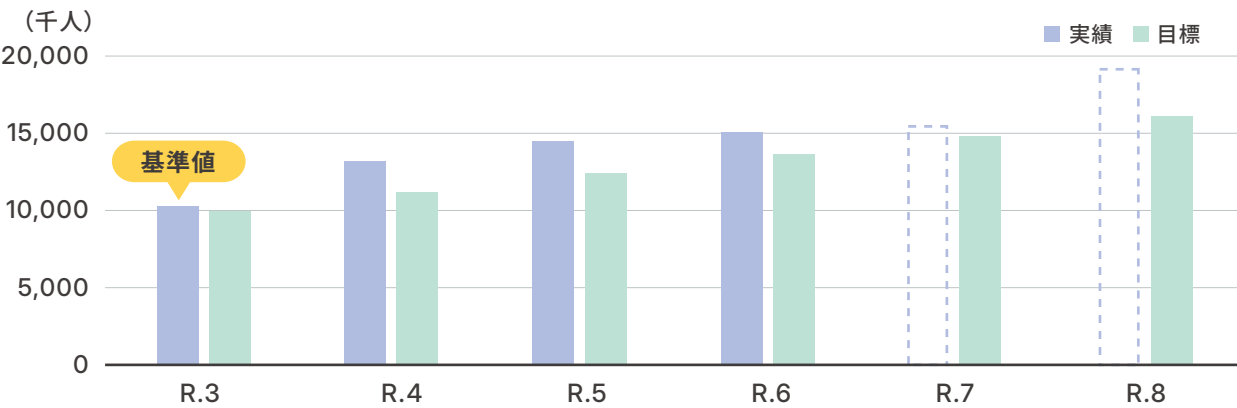
4

KPI検証

KPI1: 観光地利用者統計 | 達成状況の確認

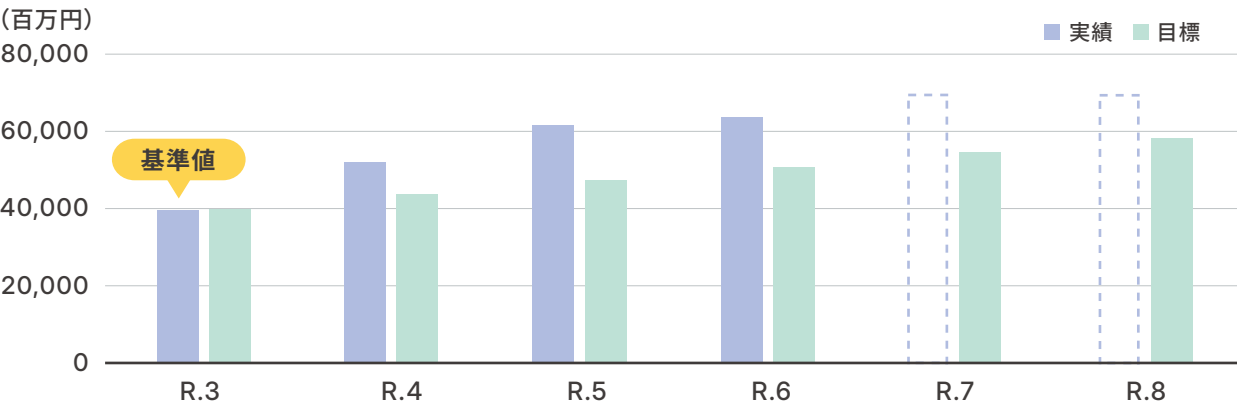
長野県が公表している観光統計調査では令和6年度までのデータとなるが過去の伸長率から推測すると概ね目標値は達成見込み。

達成進捗率は、R.3からR.4が128%、R.4からR.5が110%、R.5からR.6が104%となっており、前年度から比較した単年の平均伸長率は113.6%と推測できる。R.6年度の実績と掛け合わせると、R.7が170万人、R.8が194万人の着地見込みとなる。



観光地利用者延数 (千人)	R.3	R.4	R.5	R.6	R.7	R.8
実績	10,243	13,126	14,437	15,016		
目標	10,000	11,200	12,400	13,600	14,800	16,000
前年度からの伸長率		1.281461	1.099878	1.040105		

観光地消費額については年平均伸長率が117.1%で、R.5年度時点でR.8年度の目標値を超えていることから、目標達成となる。ただし成長率は鈍化している。



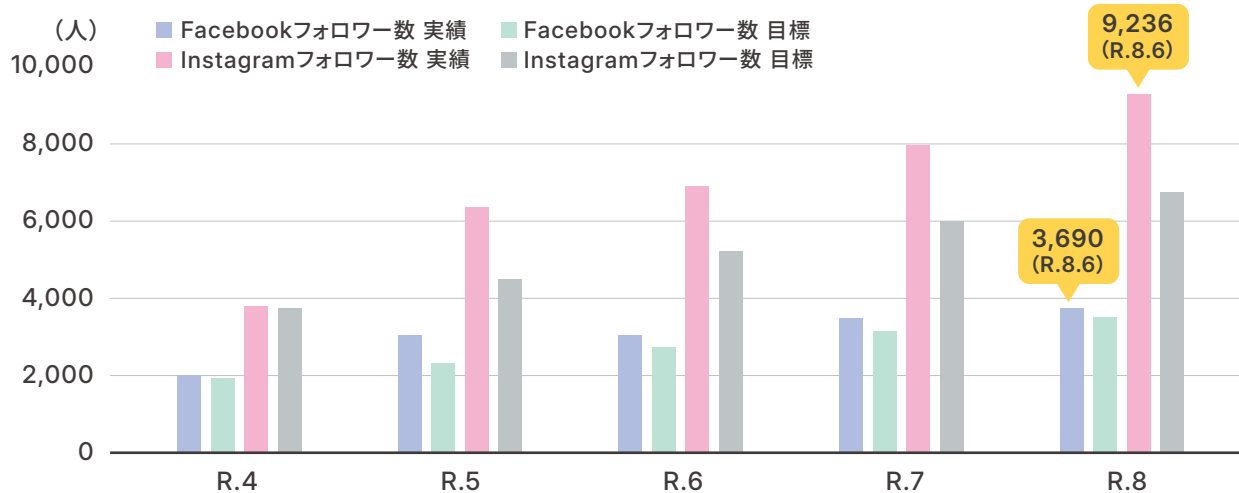
観光地消費額 (百万円)	R.3	R.4	R.5	R.6	R.7	R.8
実績	39,552	51,956	61,328	63,571		
目標	40,000	43,600	47,200	50,800	54,400	58,000
前年度からの伸長率		1.313612	1.180383	1.036574		

4

KPI検証

KPI2: 佐久市観光協会SNSアカウント | 達成状況の確認

観光協会のSNSアカウントはFacebook、Instagramともに早期に目標を達成。
令和7年度5月末時点で計画期間の目標値に到達しました。

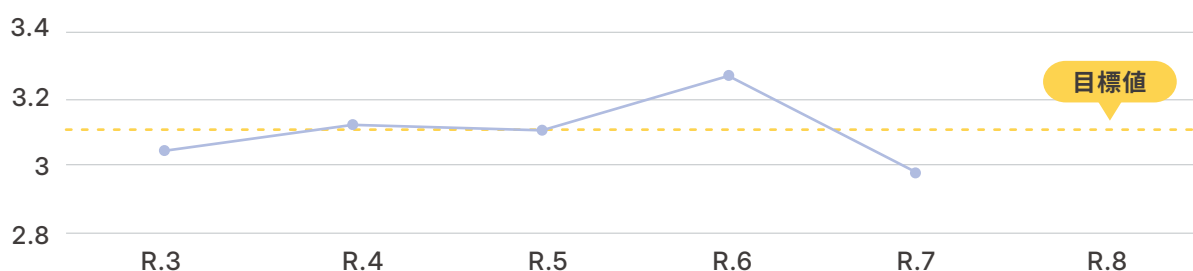


		R.4	R.5	R.6	R.7	R.8
Facebookフォロワー数(人)	実績	1,967	3,005	3,014	3,415	3,690
	目標	1,900	2,300	2,700	3,100	3,500
Instagramフォロワー数(人)	実績	3,773	6,327	6,825	7,914	9,236
	目標	3,700	4,450	5,200	5,950	6,700

各観光地の「旅マエ」「旅ナカ」の情報収集作業において、AIの登場による検索形態の変化が見受けられる。第三次佐久市観光振興ビジョンの目標設定においては、昨今の社会動向などを考慮し、継続的にSNSフォロワー数の増加を目標設定とすべきか否か慎重に検討してまいります。

KPI3: 市民アンケートによる満足度指数 | 達成状況の確認

目標値を達成している年度と下回っている年度が混在。観光振興に関する取組みの市内共有や市内事業者や市民巻き込み型の施策の必要性を検討します。



4

KPI検証

KPI: 目標設定 | 基準値の変更

佐久エリアでの集計数値から、佐久市内の地点集計数値に変更いたします。

過去の総合計画及び観光振興ビジョンのKPIは、長野県観光統計調査の佐久エリアを対象とした数値を参照していましたが、佐久エリアは、広く東信地域の観光入込客数や観光消費額が合算された数値のため、第三次佐久市観光振興ビジョンの改訂と、第三次佐久市総合計画の策定が重なる本タイミングにて、佐久市の観光集計地点の合計数を新たなKPIとして設定し、より実態に近い数値で今後の佐久市観光振興を推進してまいりたいと存じます。

観光地利用者延数

2,443,300 人

基準値 (R.6)

3,947,100 人

目標値 (R.12)

	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12
観光地利用者延数 (千人)	23,393	24,433	26,877	28,808	31,282	33,748	36,527	39,471
前年度からの伸長率	115.85%	104.45%	110.00%	107.19%	108.59%	107.88%	108.23%	108.06%

実績値 ◀ ▶ 推計値

観光消費額

15,944,138,000 円

基準値 (R.6)

26,730,080,000 円

目標値 (R.12)

	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12
観光地消費額 (千円)	15,183,405	15,944,138	17,653,361	19,035,159	20,798,607	22,575,516	24,585,456	26,730,080
前年度からの伸長率	116.74%	105.01%	110.72%	107.83%	109.26%	108.54%	108.90%	108.72%

実績値 ◀ ▶ 推計値

- ※目標値は第三次佐久市観光振興ビジョン骨子作成時点での仮設定です。
- ※R.6年度までの数値が実績値であり、R.7年度以降の伸長率は想定数値です。
- ※想定伸長率は対象年度の前年度・前々年度の幾何平均*で算出しています。
- ※長野県観光統計よりR.7年度の実績値が公開され次第、目標値・推測方法の見直しを行います。

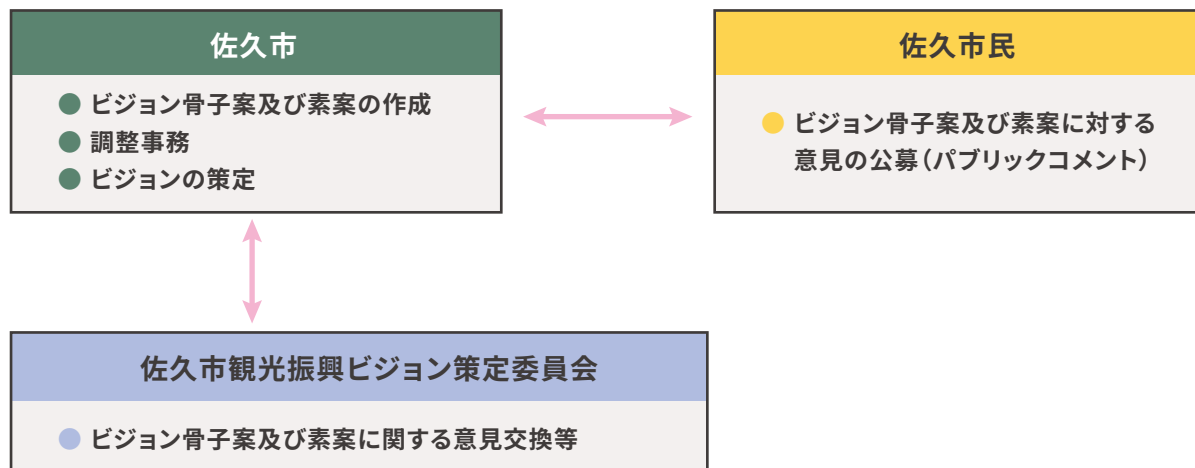
* 幾何平均=対象のデータを掛け合わせて、その「データの個数分の累乗根 (n乗根)」を求める計算方法

近年、GPSを用いたサービスや決済端末の普及・技術革新によって様々な数値計測の手法が存在しています。実態に基づき且つ効率的に数値集計を行えるよう、数値計測手法等についても今年度のビジョン改訂過程で検討してまいります。

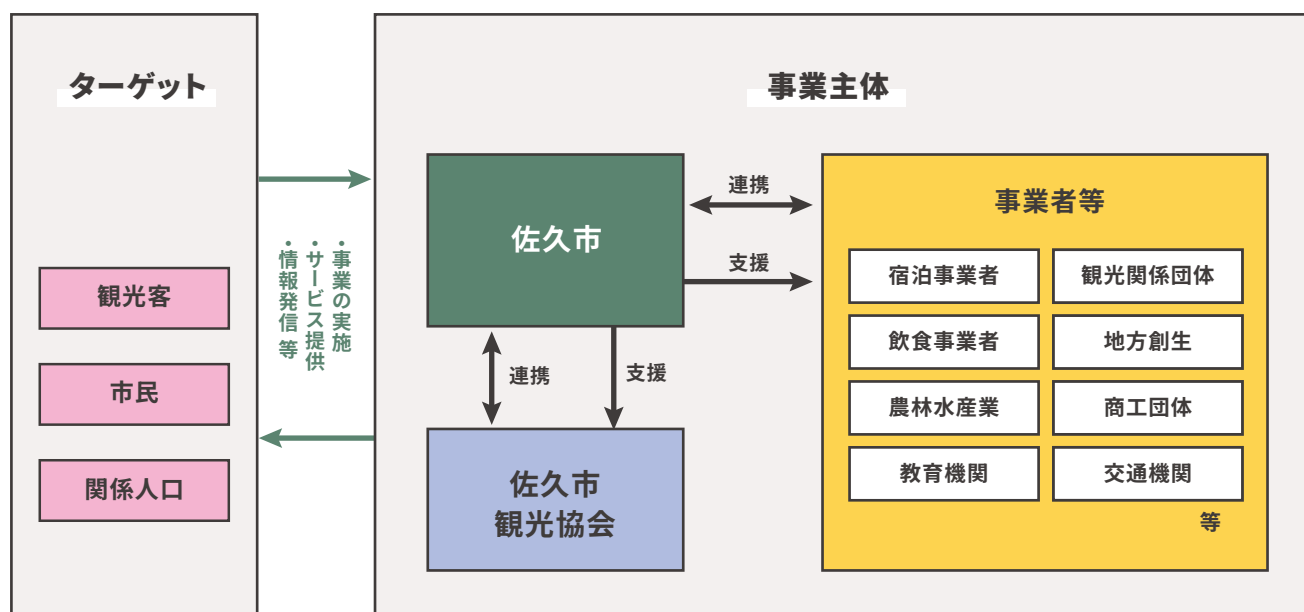
5

ビジョン策定・推進体制

観光振興ビジョン策定体制



観光振興施策推進体制



6

これからの観光振興の基本的方針

第二次佐久市観光振興ビジョンの基本的方針

地域経済の活性化

観光客の増加に伴い消費活動が活性化すること、地域外から獲得した資金を地域内で循環させ、地域に雇用と所得を持続的に生み出す「自律的な経済構造の構築（地域内経済循環）」を図る

市の認知度
地域ブランド力の向上

観光PRの推進によって市（及び市の魅力）の認知度が向上するほど、クチコミ等による波及的な効果や、新たな視点から魅力が再発見されることが期待され、地域の価値（ブランド力）のさらなる向上が図られる

交流人口・
関係人口の創出

（既存の顧客・ファンを大切に）ファンベースマーケティングの推進により、単に現地を訪れ観光する「交流人口」のほか、兼業・副業等のビジネスを含む祭事・イベント運営への参画といった多様なかわり方をする市の根強いファン（＝「関係人口」）の増加及び獲得を図る

シビックプライドの
醸成

地域内外に佐久市ファンが増加することは、市民が地元を見つめ直す（知る）機会の創出や郷土愛を高めることにつながるため、市民満足度の向上やUターン等の促進が図られるとともに、住民主体の地域活動の活性化が図られる

観光を契機とした
移住定住の促進

知って、行ってみたいくなり、来て、住んでみたいくなる「シルクルスムサイクル」の実現に向けた市の魅力のPRや滞在型周遊観光の促進等により、移住・定住による人口増を図る

第三次佐久市観光振興ビジョン改訂に向けて

1

現行ビジョンの
成果検証・進捗確認

KPIの数値検証を完了し、各アクションごとの進捗確認に着手。第二次観光振興ビジョンの施策体系を第三次観光振興ビジョンにどの程度引き継ぐべきか、これまでの成果や今後の社会動向を検証し整理します。

2

各種調査・分析

国内・県内・東信エリア・市内の統計的調査・分析を実施し、課題仮説を整理しました。今後はさらにミクロな視点で市内観光スポットにおける観光来訪者調査を実施し、基本方針を整理する上で土台となる情報を収集・分析します。

3

関係者ヒアリング

観光関連事業者視点で佐久市における観光課題を明らかにすることを目的に、関係者ヒアリングの実施を予定しております。観光受け入れ態勢の現況や、第三次観光振興ビジョン計画期間における推進・協力体制の確認を実施予定です。

第三次佐久市観光振興ビジョンにおける方針案

八ヶ岳山麓の豊かな自然を望める
標高の高さを活かしたブランディング

環境変化における避暑地としての需要に加えて、近隣広域エリアでの連携による多彩な魅力を活かしたエリアブランディング

マニアックコンテンツの
ファンベース形成によるブランディング

佐久市に存在するコアな層に人気のコンテンツを軸に着実にマニア層のファン化・コミュニティ形成を行っていく